

西之表市橋梁長寿命化修繕計画



平成 27 年 3 月
(令和 7 年 2 月更新)

西之表市 建設課 土木係

目 次

§ 1 計画策定の基本的な考え方	1
1.1 背景と目的	1
1.2 橋梁を取り巻く現状	1
§ 2 橋梁の管理方法	5
2.1 基本的な考え方	5
2.2 点検の方法	6
§ 3 橋梁長寿命化修繕計画の策定	7
3.1 基本フロー	7
3.2 ライフサイクルコストの算定	8
§ 4 橋梁長寿命化修繕計画の効果	9
§ 5 新技術及び費用の縮減に関する検討	10
5.1 今後の取組	10
§ 6 意見を聴取した学識経験者	11
§ 7 橋梁点検計画・修繕計画	12

§ 1 計画策定の基本的な考え方

1.1 背景と目的

西之表市が管理する市道に架かる道路橋は 90 橋であり、高度経済成長期に建設された多くの橋梁が、今後、急速に高齢化し、架替えや修繕に要する費用が急増することが予想されます。

このため、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、予防的な修繕による橋梁の長寿命化や計画的な架替えに取り組むことにより、長期的な観点からみたライフサイクルコスト(LCC)の縮減を図ることが可能となります。

平成 27 年度以降、平成 26 年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき進めてきた定期点検、補修設計、補修工事の結果を基に長期計画(長寿命化修繕計画)の見直しを図り、計画的・継続的な対策を実施することにより地域の交通ネットワークの安全性・信頼性を確保していきます。

1.2 橋梁を取り巻く現状

1.2.1 管理する橋梁の現状

市が管理する橋梁は 90 橋であり橋種別で分類するとコンクリート橋は RC 橋が 66%の 59 橋、PC 橋が 31%の 28 橋、鋼橋は約 2%の 2 橋、石橋は約 1%の 1 橋となっています。

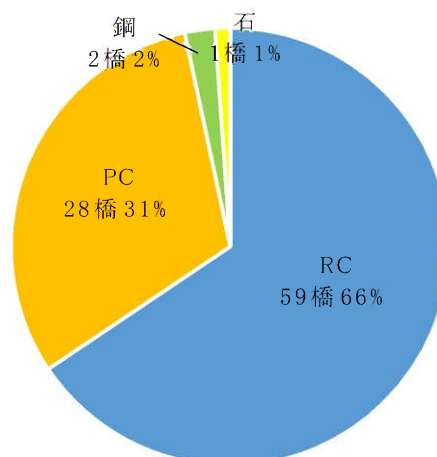


図 1.1 橋種ごとの橋梁数

表 1.1 橋種ごとの橋梁数

全橋梁数	RC	PC	鋼	石
90	59	28	2	1
	66%	31%	2%	1%
	100%			

長寿命化修繕計画(平成 26 年度)を基に変状に対する対策を実施した橋梁数は 25 橋であり全体の 28%です。

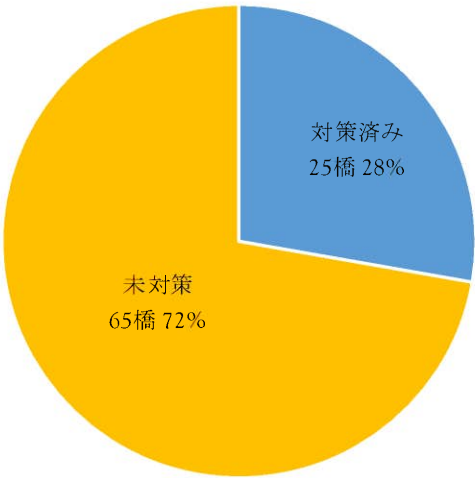


図 1.2 補修対策の実施状況

表 1.2 補修対策の実施状況

全橋梁数	対策済み	未実施
90	25	65
	28%	72%

現段階で対策を実施していない橋梁の損傷度の割合は判定“Ⅳ”が 1 橋(2%)、“Ⅲ” 7 橋(11%)、“Ⅱ” 21 橋(32%)となっており、市が管理する橋梁の 4 割程度が何等かの劣化、変状が確認されています。

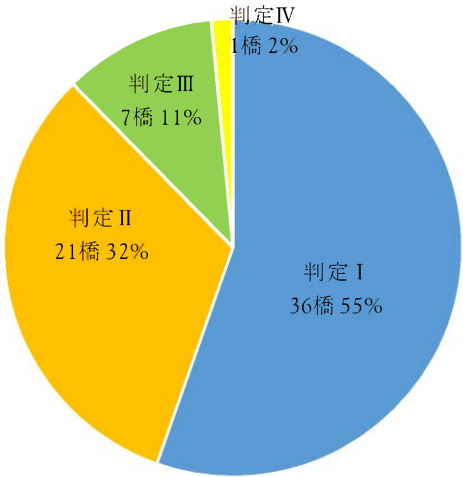


図 1.3 橋梁の判定区分

表 1.3 橋梁の判定区分

全橋梁数	判定区分			
	I	II	III	IV
65	36	21	7	1
	55%	32%	11%	2%

対策済みの橋種の割合は RC が 100%(25 橋)となっています。

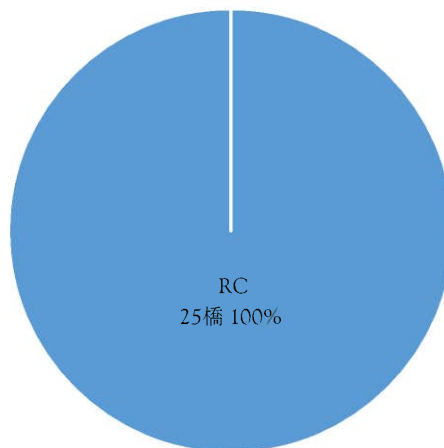


図 1.4 対策済みの橋種の割合

表 1.4 対策済みの橋種の割合

全橋梁数	RC	PC	鋼	石
25	25	0	0	0
	100%	0%	0%	0%
	100%			

建設後 50 年以上となる橋梁の割合を以下に示します。老朽橋の目安は、建設から 50 年と考えております。20 年後には市が管理する 81%の橋梁が橋齢 50 年以上となります。

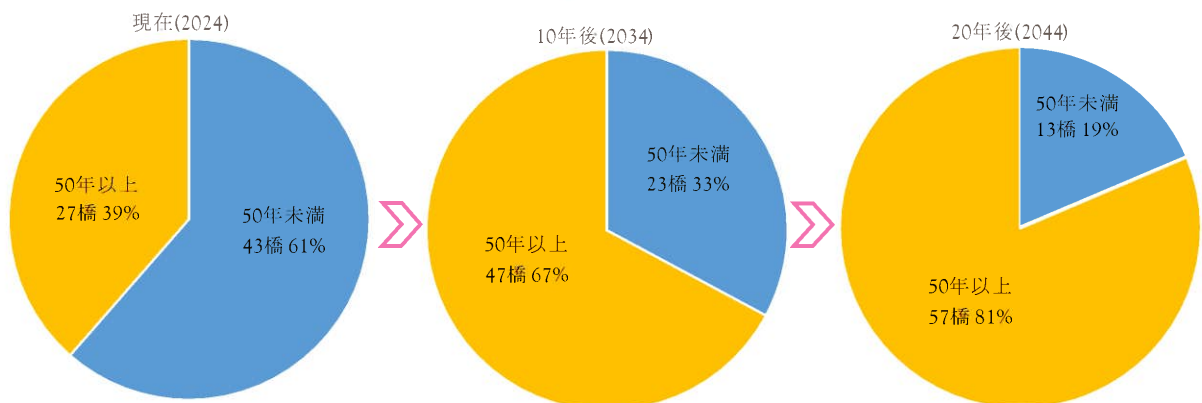


図 1.5 橋齢 50 年以上になる橋梁の推移

表 1.5 橋齢 50 年以上になる橋梁の推移

全橋梁数	現在(2024)	10年後	20年後
70	27	47	57
	39%	67%	81%

※これから建設される橋梁は考慮していない。

架設年次が不明の橋梁(20橋)は除外する。

橋齢の割合を以下に示す。橋齢 20 年未満の橋梁が全体の 13%(9 橋)であり、新規に建設される橋梁は少なくなっております。

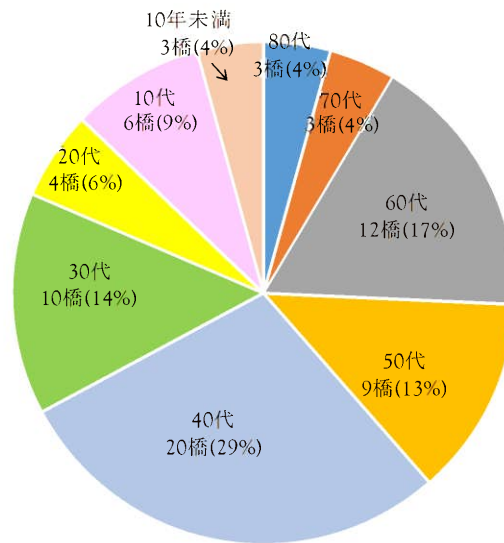


図 1.6 橋齢の割合(10 年毎)

表 1.6 橋齢の割合(10 年毎)

橋齢	橋数	割合
90～99	0	0%
80～89	3	4%
70～79	3	4%
60～69	12	17%
50～59	9	13%
40～49	20	29%
30～39	10	14%
20～29	4	6%
10～19	6	9%
0～9	3	4%
合計	70	100%

※架設年次が不明な橋梁(20 橋)は除外する。

§2 橋梁の管理方法

2.1 基本的な考え方

市の管理する 90 橋すべての橋梁長寿命化対策について『予防保全』を導入していきます。

予防保全の基本的な考え方として、橋梁の管理方法についての維持管理体系を確立するために、点検強化を全面に打ち出し、日常点検、定期点検、異常時点検にてこまめに対応します。

すなわち『こまめな点検・補修による予防保全』としています。

維持管理の取組みについて、以下の 3 つを実施します。

- ① 90 橋すべての橋についてグループを 2 つに区分し、効率的・効果的な維持管理を行い予防保全に努めます。
⇒A グループ：石橋以外、B グループ：石橋
- ② 橋梁の損傷程度が大きいものから優先した補修対策を実施します。
⇒大きい損傷があるものから対策を実施
- ③ 効果的な補修を実施するために優先順位を明確にします。
⇒劣化進行過程の遷移を確率的にとらえること(マルコフ連鎖解析)により、優先順位を明確にしました。

今後、橋梁の老朽化に伴う重大事故が増大する危険性を回避し、利用者に安心安全を与える維持管理を実施していくことが重要と考えています。よって、計画的な PDCA サイクルを継続的に実施していきます。

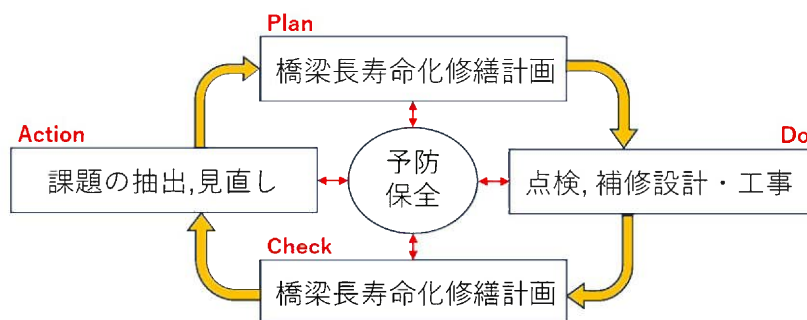


図 2.1 予防保全の流れ

市民の安心安全な生活を支えるため健全な道路ネットワークを維持すると共に予防保全を推進し、長寿命化を図ることによって修繕等に係る費用を縮減します。

2.2 点検の方法

橋梁の点検は、日常点検、定期点検、異常時点検の3つに分けて点検します。道路維持管理の一環として現状を把握し、安全性や耐久性に影響すると考えられる損傷を早期に発見し対策を行うことにより、常に橋梁が良好な状態であることを目指します。

点検手法は、鹿児島県が作成した“橋梁定期点検マニュアル等”に基づいて行います。

- ・ 日常点検は橋梁の保全を図るために日常的に実施します。
- ・ 定期点検は橋梁の長寿命化を図るため、詳細点検を実施します。
- ・ 異常時点検は地震等が発生した場合に橋梁の安全性を確認するために実施します。

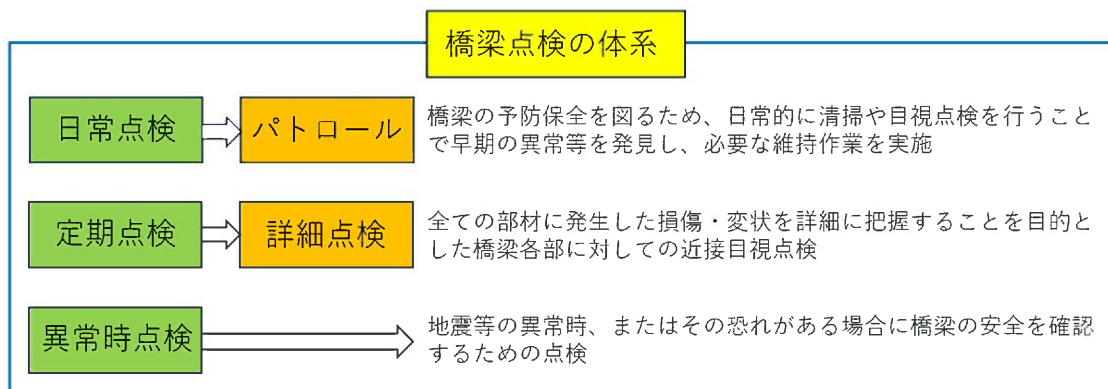


図 2.2 橋梁点検の体系図

日常点検においては、こまめな対策を行います。例えば、土砂詰りなどの清掃を行うことにより、排水を円滑に処理することができます。これにより、伸縮装置などから支承部への水の浸入を防ぐことができ、橋梁の長寿命化に繋がります。

定期点検は詳細点検を5年に1度、専門業者に委託します。また、健全度“Ⅰ”かつ足場等が不要な橋梁や異常時点検は職員が行います。

§3 橋梁長寿命化修繕計画の策定

3.1 基本フロー

限られた予算の中で、橋の安全性を確実に保持するために、従来の損傷・劣化の発現が大きくなってから対応する維持管理から、傷みの小さいうちからこまめな対策を実施する予防保全へと移行することでライフサイクルコスト(LCC)の縮減を図ります。

長寿命化修繕計画については10年毎に事後評価等を踏まえた見直しを行います。

以下に計画策定に関する全体の流れについてPDCAサイクルを用いて示します。

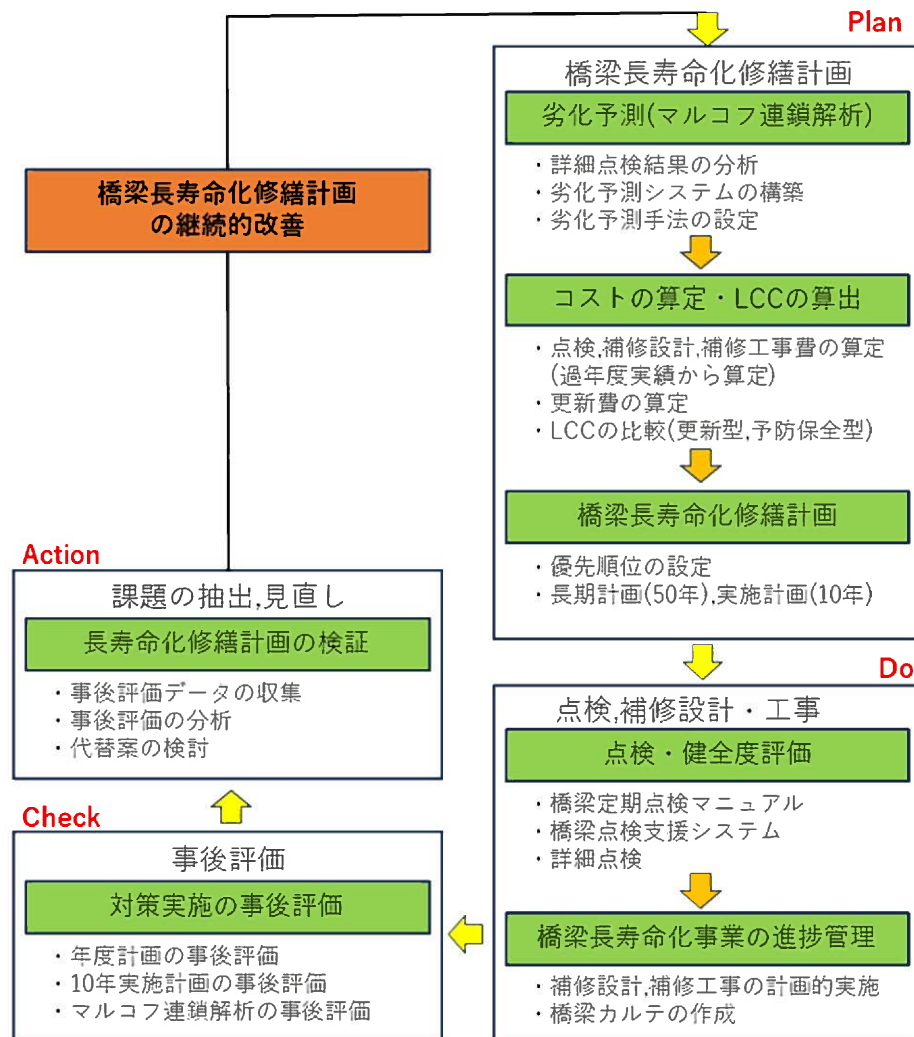


図 3.1 長寿命化修繕計画の流れ

3.2 ライフサイクルコストの算定

3.2.1 ライフサイクルコスト(LCC)算出の前提条件

橋梁ごとのライフサイクルコスト(以下 LCC)算出の条件は今後 100 年間持たせることを前提とします。

3.2.2 維持管理の方針について

下表に示す維持管理の方針を 2 つ設定して、LCC のシミュレーションを行いました。

表 3.1 維持管理の考え方

維持管理の方針	考え方
更新型	損傷の程度に関わらず対策を行わないまま橋梁の寿命と言われる 50 年毎に架け替えを行う。
予防保全型	予防的な維持管理により寿命を 100 年まで延命できるものと過程する。そのうち当面 50 年間で最も経済的な維持管理ができるように予防的な対策を適宜行う。なお、100 年経過した後も特に問題がなければその後も維持管理を継続的に行う。

3.2.3 維持管理の方針について

維持管理を効果的に実施していくために、橋梁毎にカルテを作成し、日常点検・定期点検・補修計画・対策実施の記録を残していきます。

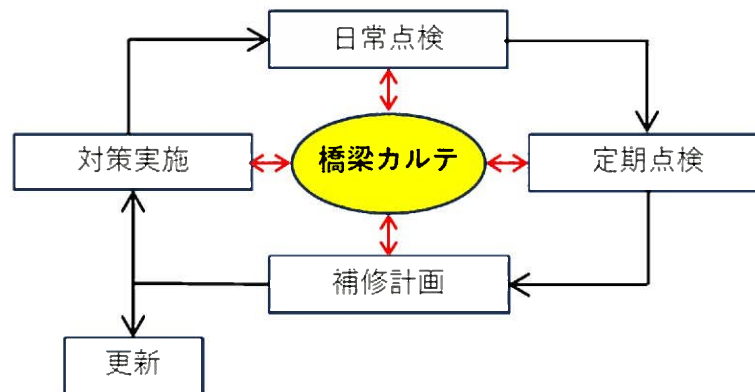


図 3.2 維持管理の流れ

更新については、供用開始から 100 年経過した橋梁を対象とするが、100 年経過した後も特に問題がなければ補修等を施して維持管理を継続して行う。

§4 橋梁長寿命化修繕計画の効果

修繕および架替えに要する費用は、予防保全型では、約 20 億 300 万円となり、今後 50 年ですべてを更新した場合の約 33 億 6900 万円と比較して、約 13 億 6600 万円(約 41%)のコスト縮減が見込まれます。

表 4.1 ライフサイクルコスト(LCC)一覧

ライフサイクルコスト (LCC)算定	50年間の総額 (百万円)
更新型	3,369
予防保全型	2,003(約41%の縮減)

更新型と予防保全型、それぞれの 50 年間で必要となるライフサイクルコスト(LCC)の推移を以下に示します。

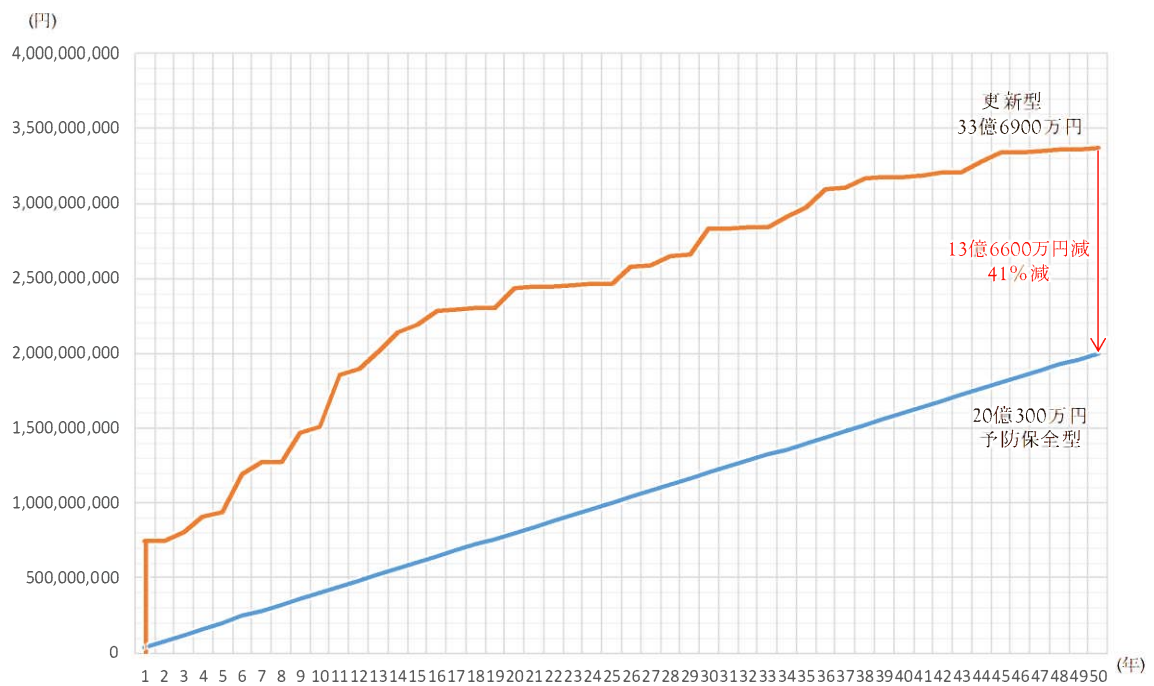


図 4.1 LCC の推移

§5 新技術及び費用の縮減に関する検討

5.1 今後の取組

○新技術の導入

令和 10 年度までに、管理する橋梁 90 橋全てについて、修繕や点検等に係る新技術等の活用
の検討を行うとともに、10 橋の橋梁で費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術
等を活用し、令和 10 年度までの 5 年間で約 2 百万円のコスト縮減を目指します。

○橋梁の集約化・撤去の検討

令和 10 年度までに、管理する 90 橋のうち 2 橋程度について、施設撤去に伴う回路整備や
機能縮小、集約化などの検討を行うことにより約 1.5 百万程度のコスト縮減を目指します。

維持管理のコスト縮減を図るため、建設から 83 年経過し老朽化が著しい西京橋については、
迂回路があり、周辺住民の了解も得たことから道路メンテナンス事業等を活用して撤去を行
います。

○費用縮減

令和 10 年度までに、管理する 90 橋のうち、橋長が短く構造が単純な 20 橋程度については直
営点検を実施し、2 巡目点検において従来技術を使用した 10 橋に対して新技術を活用した点検
を実施することで、費用を約 6 百万円程度削減すること目標とします。

§ 6 意見を聴取した学識経験者

この計画は学識経験者の専門知識を有する方として

鹿児島大学 工学部 海洋土木工学科 山口教授

鹿児島大学 工学部 海洋土木工学科 審良准教授 に助言を頂きました。

写真－意見聴取の様子



§ 7 橋梁点検計画・修繕計画

市が管理する全ての橋梁について、今後 10 年間の点検計画・修繕計画を下表に示します。

整理 番号	橋梁名	路線	所在地	架設 年度	供用 年数	橋長 (m)	縦 幅員 (m)	上部構造		点検記録			点検計画：○ 補修設計計画：■ 対策工事計画：● 撤去・移管：▲																対策費用		講ずる措置の内容	
								構造形式	使用 材料	点検実施 年度	判定 区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	補修 設計費 (円)	補修 工事費 (円)									
1	久保田橋	奥久保田線	西之表市国上久保田	1984	40	4.8	6.3	RC中実床版橋	RC	R1	I							○					○	1,117,400	8,117,760							
2	浦田下之橋	浦田線	西之表市国上浦田	2015	9	6.4	4.8	溝橋(BOX)	RC	R2	I	○						○							1,135,900	4,568,160						
3	第3太田橋	寺之門大田線	西之表市国上寺之門	1989	35	11.3	5.5	プレテンT版橋	RC	R3	I		○						○						2,301,400	1,268,880						
4	大田橋	寺之門大田線	西之表市国上寺之門	1955	69	5.6	4.2	RC中実床版橋	RC	R3	II										■				869,500	6,316,800						
5	第2板園橋	柳原野水平線	西之表市国上板園	1986	38	13.4	6.2	桁橋(その他)	RC	R2	I	○						○							3,074,700	1,695,240						
6	第1板園橋	柳原野水平線	西之表市国上板園	1954	70	5.3	4.3	RC中実床版橋	RC	R3	II		○					■	●						843,600	6,128,640	橋面修理工・溝橋付置工事					
7	第3板園橋	川安板園線	西之表市国上板園	1985	39	13.9	5.2	プレテンT桁橋	RC	R2	II	○										■			2,675,100	3,000,000						
8	又延橋	野木平又延伊岡線	西之表市伊岡又延	1966	58	8.0	4.8	RCT桁橋	RC	H30	I			○						○					1,420,800	16,542,720						
9	豊受橋	下郷現和上之町線	西之表市安納下郷	1993	31	10.3	7.2	プレテン中実床版橋	RC	R4	I			○							○				2,745,400	1,513,680						
10	田代川橋	川氏線	西之表市現和川氏	1993	31	18.0	7.2	プレテン拱版橋	RC	R3	I		○							○					4,795,200	2,643,840						
11	桃園橋	近政上之原線	西之表市信城桃園	1957	67	4.2	5.4	RC中実床版橋	RC	R1	II						■	○					○		839,900	6,101,760	橋面修理工・ひび割れ補修工事					
12	平田橋	石堂坪之峯線	西之表市信城平田	2009	15	23.9	7.7	プレテン中実床版橋	RC	R2	I	○							○						6,808,000	3,753,600						
13	樋口橋	本立線	西之表市信城平田	2008	16	22.0	5.2	プレテンT桁橋	RC	R2	I	○							○						4,232,800	2,333,760						
14	大正寺橋	現和下之町石堂線	西之表市現和石堂	1987	37	22.9	8.2	ボステン中実床版橋	RC	R4	I			○							○				6,948,600	3,831,120						
15	湊川橋	現和平園線	西之表市現和武部	1984	40	31.1	8.2	ボステンT桁橋	RC	R4	II			○							○		■		9,435,000	5,202,000						
16	西之川橋	現和平園線	西之表市現和武部	1983	41	7.5	6.2	プレテン拱版橋	RC	R3	I		○						○						1,720,500	948,600						
17	大割橋	現和平園線	西之表市現和武部	1984	40	8.0	6.2	桁橋(その他)	RC	R2	I	○							○						1,835,200	1,011,840						
18	麻奈川橋	現和平園線	西之表市現和武部	2003	21	8.0	5.7	RC中実床版橋	RC	R2	I	○							○						1,687,200	12,257,280						
19	第1今年川橋	今年川線	西之表市信城今年川	1937	87	2.8	4.7	溝橋(BOX)	RC	R2	I	○							○						488,400	1,964,160						
20	第2今年川橋	竹鶴今年川線	西之表市信城今年川	1967	57	3.5	4.6	RC中実床版橋	RC	R2	I	○							○						595,700	4,327,680						
21	竹鶴橋	流川城線	西之表市信城竹鶴	1970	54	5.3	6.3	RC中実床版橋	RC	R2	II	○							○			■	●		1,235,800	8,977,920	溝橋付置工事					
22	万生橋	万波生美山線	西之表市信城生美山	1958	66	2.9	4.8	溝橋(BOX)	RC	R1	I								○					○	514,300	2,068,320						
23	万波橋	万波生美山線	西之表市中利万波	1962	62	5.5	3.9	RC中実床版橋	RC	R1	II								○					○	795,500	5,779,200						
24	曲川橋	安城古田線	西之表市古田曲川	1955	69	2.7	5.1	床版橋	RC	H30	I			○						○					510,600	5,945,040						
25	第1上之町橋	古田下西線	西之表市古田上之町	1963	61	5.7	4.7	RC中実床版橋	RC	R2	I	○							○						991,600	7,203,840						
26	第2上之町橋	古田下西線	西之表市古田上之町	1986	38	14.0	9.4	ボステン中実床版橋	RC	R3	I		○							○					4,869,200	2,684,640						
27	第3上之町橋	古田下西線	西之表市古田上之町	1980	44	16.2	9.4	ボステン中実床版橋	RC	R3	I		○							○					5,635,100	3,106,920						
28	古尾橋	古田住吉線	西之表市古田中之町	1943	81	4.0	3.6	石橋	石	R1	I								○				○		532,800	2,142,720						
29	大川橋	古田住吉線	西之表市住吉大川	1947	77	8.0	3.9	RCT桁橋	RC	R2	I	○													1,154,400	8,386,560						
30	浜之町橋	古田住吉線	西之表市住吉浜之町	1972	52	25.1	7.3	桁橋(その他)	RC	R4	II			○					■	●					6,778,400	3,737,280	橋面修理工・橋面排水工事					
31	形之山橋	住吉中学校線	西之表市信吉形之町	1978	46	3.1	5.0	溝橋(BOX)	RC	R1	II						■	○	●				○		573,500	2,306,400	橋面修理工					
32	荒牧田橋	池野川線	西之表市下西川池	1979	45	4.9	5.7	溝橋(BOX)	RC	R1	I								○					○	1,032,300	4,151,520						
33	安徳橋	蘆刈下西線	西之表市下西蘆刈	1993	31	9.7	6.4	RCT桁橋	RC	R3	I	○								○					2,297,700	16,692,480						
34	大町橋	古田能野線	西之表市信吉上能野	1961	63	5.8	6.6	RC中実床版橋	RC	R1	II								○		■	●		○	1,417,100	10,295,040	橋面修理工・ひび割れ補修工事・橋面排水工事					
35	西保橋	川氏武部線	西之表市現和西保	1962	62	14.1	4.4	RCT桁橋	RC	-	III	●			○						○				7,500,000	26,709,600	橋面修理工・支保脚付置工事					
36	野間殿橋	立山十六番線	西之表市立山野木	1959	65	8.4	4.6	RCT桁橋	RC	R4	II			○					■	●					1,428,200	10,375,680	橋面修理工・支保脚付置工事					
37	尻之川橋	村之町線	西之表市古田村之町	1958	66	5.5	4.1	RC中実床版橋	RC	R1	I								○				○		836,200	6,074,880						
38	信城橋	信城線	西之表市信城信城	2003	21	39.5	7.2	ボステンT桁橋	RC	R3	I		○							○					8,000,000	5,801,760						
39	第2桃園橋	信城線	西之表市信城桃園	1968	56	5.6	6.0	溝橋(BOX)	RC	R2	II	○						○		■		●			1,243,200	4,999,680	橋面修理工・ひび割れ補修工事					
40	岳之田橋	竹鶴岳之田線	西之表市信城岳之田	2007	17	24.8	5.2	プレテンT桁橋	RC	R2	I	○							○						4,773,000	2,631,600						
41	第2岳之田橋	竹鶴岳之田線	西之表市信城岳之田	1971	53	5.0	5.0	RC中実床版橋	RC	R2	I	○							○						925,000	6,720,000						
42	小長野橋	小長野線	西之表市上西横山	2011	13	18.9	6.2	プレテン中実床版橋	RC	R2	I	○							○						4,336,400	2,390,880						
43	近政橋	近政線	西之表市現和近政	2001	23	23.0	5.2	プレテン拱版橋	RC	R3	I		○						○						4,425,200	2,439,840						
44	第1二本松橋	立山古田線	西之表市古田二本松	1983	41	5.0	6.3	RC中実床版橋	RC	R1	I								○				○		1,165,500	8,467,200						
45	鶴羽橋	立山古田線	西之表市古田万波	1966	58	6.1	4.8	RC中実床版橋	RC	R2	I	○								○					1,084,100	7,875,840						
46	高浜橋	鶴羽町1号線	西之表市信城鶴羽町	1974	50	54.0	4.8	桁橋	RC	R4	IV	●	●	●	●	●					○				9,250,000	50,000,000	橋面修理工・支保脚付置工事・支保脚付置工事					
47	中代橋	田之脇石堂線	西之表市現和近政	1976	48	15.6	7.3	プレテンT桁橋	RC	R4	II			○						○	■	●			4,214,300	5,057,160	橋面修理工・ひび割れ補修工事					
48	川氏橋	田之脇石堂線	西之表市現和川氏	1977	47	15.6	7.5	プレテンT桁橋	RC	R3	I		○							○					4,329,000	2,386,800						
49	浦田橋	浦田線	西之表市国上浦田	1978	46	4.8	4.1	RC中実床版橋	RC	R1	II									■	●				728,900	5,295,360	橋面修理工・ひび割れ補修工事					
50	中ノ川橋	浦田線	西之表市国上浦田	2009	15	3.5	6.6	溝橋(BOX)	RC	R1	I								○				○		854,700	3,437,280						

整理 番号	橋梁名	路線	所在地	架設 年度	供用 年数	橋長 (m)	総 幅員 (m)	上部構造	点検記録			点検計画：○ 補修設計計画：■ 対策工事計画：● 撤去・移管：▲								対策費用		講ずる措置の内容								
								構造形式	使用 材料	点検実施 年度	判定 区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16		補修 設計費 (円)	補修 工事費 (円)						
51	御田橋	古田発電所線	西之表市古田町之町	1982	42	8.5	5.5	プレテン板版橋	RC	R3	II	○					■	○									1,731,600	954,720	橋面防水工等	
52	上之原河邊橋	城上之原線	西之表市稲城上之原	1982	42	28.0	9.8	ラーメン橋	RC	R5	II			○					○									8,000,000	50,000,000	
53	第1川脇橋	川脇長山線	西之表市安城川脇	1977	47	4.6	5.4	RC中実床版橋	RC	R2	I	○						○										917,600	6,666,240	
54	安成橋	川脇長山線	西之表市安城下之町	1999	25	40.0	5.2	ガステンT桁橋	RC	R3	I	○							○									7,696,000	4,243,200	
55	第2川脇橋	川脇長山線	西之表市安城川脇	1977	47	4.4	6.1	RC中実床版橋	RC	R2	II	○						○	■		●							991,600	7,203,840	橋面修繕工・表層塗装工等
56	浜脇橋	浜脇木折板線	西之表市伊間浜	1977	47	5.3	4.5	RC中実床版橋	RC	R3	II	○						○	■		●							884,300	6,424,320	橋面修繕工・表層塗装工等
57	大中田橋	柳原渡線	西之表市国上法	1989	35	18.7	5.7	プレテンT桁橋	RC	R3	I	○							○									3,944,200	2,174,640	
58	上之吉田橋	野木平上之吉田線	西之表市国上法	2009	15	3.5	5.0	溝橋(BOX)	RC	R1	II					○			■		○	●						647,500	2,604,000	橋面修繕工・防錆塗装工等
59	下之平橋	国上西之表線	西之表市国上法	1984	40	20.0	8.2	ガステン中実床版橋	RC	R4	I			○					○									6,068,000	3,345,600	
60	葛松橋	国上西之表線	西之表市国上法	1984	40	20.0	8.2	ガステン中実床版橋	RC	R4	I			○					○									6,068,000	3,345,600	
61	湊橋	柳原渡線	西之表市国上法	1988	36	5.0	5.3	RC床版橋	RC	R3	I	○							○									980,500	7,123,200	
62	鶴橋	甲乙川線	西之表市稲城城	1977	47	56.9	9.3	箱桁橋	RC	R4	III			○					○									8,000,000	50,000,000	
63	小池橋	深川2号線	西之表市吉田深川	1953	71	8.6	4.2	RCT桁橋	RC	R1	I				○					○								1,335,700	15,551,880	
64	大川田橋	大川田橋線	西之表市安城大野	1962	62	13.2	7.2	RCT桁橋	RC	R4	I			○					○									3,515,000	25,536,000	
65	西京橋	西京橋線	西之表市伊間伊間	1941	83	32.4	3.9	RCT桁橋	RC	—	III							▲	▲								撤去費用→	56,925,000	撤去工事	
66	第3川脇橋	川脇線	西之表市安城川脇	1968	56	4.5	3.6	RCT桁橋	RC	R2	I	○						○										599,400	4,354,560	
67	西小太郎橋	川氏渡線	西之表市現和自保	1955	69	5.5	4.3	RC中実床版橋	RC	R2	I	○							○									876,900	6,370,560	
68	川脇橋	大野川脇線	西之表市安城川脇	1979	45	43.5	10.0	ボスステンT桁橋	RC	R4	III	●	●	○	●	●				○								8,000,000	93,572,400	橋面修繕工・ひび割れ修繕工・表層塗装工等
69	清徳川橋	石堂坪之峯線	西之表市上西横山	2018	6	11.9	8.2	プレテン中実床版橋	RC	R4	I			○					○									3,611,200	1,991,040	
70	大田橋	村之町線	西之表市古田町之町	2017	7	24.6	5.2	ガステン中実床版橋	RC	R4	I			○						○								4,732,300	2,609,160	
71	古田住吉溝橋	古田住吉線	西之表市古田	不明	—	2.5	3.3	溝橋(BOX)	RC	R3	II	○			■		●	○										307,100	1,254,960	橋面修繕工等
72	湊の小川溝橋	奥渡線	西之表市国上	不明	—	6.6	6.2	床版橋	RC	R3	I	○							○									1,513,300	10,993,920	
73	田之脇石堂溝橋	田之脇石堂線	西之表市西之表	不明	—	3.1	10.1	溝橋(BOX)	RC	R3	II	○							○	■	●							1,158,100	4,657,440	橋面修繕工等
74	十六番万波溝橋	十六番万波線	西之表市安城	不明	—	2.9	5.8	溝橋(BOX)	RC	R3	I	○							○									621,600	2,499,840	
75	大崎上之吉田溝橋1	大崎上之吉田線	西之表市西之表	不明	—	2.3	6.1	溝橋(BOX)	RC	R3	II	○							■	○	●							518,000	2,083,200	橋面修繕工・表層塗装工等
76	池野川迎溝橋	池野川迎線	西之表市西之表	不明	—	2.9	6.8	溝橋(BOX)	RC	R3	I	○							○									728,900	2,931,360	
77	岩迫溝橋	岩迫線	西之表市西之表	不明	—	4.0	5.6	溝橋(BOX)	RC	R3	I	○							○									828,800	3,333,120	
78	岳之田3号溝橋	岳之田3号線	西之表市西之表	不明	—	3.0	6.0	中実床版橋	RC	R3	II	○								○		■	●					666,000	4,838,400	橋面修繕工・表層塗装工等
79	風本溝橋	風本神社下之町線	西之表市現和	不明	—	2.4	5.6	溝橋(BOX)	RC	R3	I	○							○									495,800	1,993,920	
80	桃園実高溝橋	桃園実高線	西之表市西之表	不明	—	2.0	15.0	溝橋(BOX)	RC	R3	I	○							○									1,110,000	4,464,000	
81	本立溝橋	本立線	西之表市西之表	不明	—	2.4	5.4	溝橋(BOX)	RC	R3	III	○					■	●	○									481,000	1,965,600	橋面修繕工等
82	庄司溝橋橋1	庄司溝線	西之表市現和	不明	—	3.0	5.3	溝橋(BOX)	RC	R3	I	○							○									588,300	2,365,920	
83	庄司溝橋橋2	庄司溝線	西之表市現和	不明	—	3.0	6.0	溝橋(BOX)	RC	R3	I	○							○									666,000	2,678,400	
84	東町5号橋	東町5号線	西之表市西之表	不明	—	2.8	4.9	RC中実床版橋	RC	R2	III	○						●	○									506,900	5,901,960	橋面修繕工・表層塗装工等
85	能野1号溝橋	能野1号線	西之表市吉吉	不明	—	3.9	7.7	溝橋(BOX)	RC	R3	I	○							○									1,110,000	4,464,000	
86	大崎上之吉田溝橋2	大崎上之吉田線	西之表市西之表	不明	—	2.4	4.7	溝橋(BOX)	RC	R3	III	○				■		●	○									418,100	1,708,560	橋面修繕工等
87	浦田御崎溝橋	浦田御崎線	西之表市国上	不明	—	2.4	6.0	溝橋(BOX)	RC	R3	I	○							○									532,800	2,142,720	
88	雁田下石寺溝橋	雁田下石寺線	西之表市西之表	不明	—	6.0	6.9	溝橋(BOX)	RC	R4	I			○						○								1,531,800	6,160,320	
89	柳原渡溝橋	柳原渡線	西之表市国上	不明	—	2.6	7.0	RC中実床版橋	RC	R4	II			○					■	●	○							673,400	4,892,160	橋面修繕工等
90	平松岳之田2号溝橋	平松岳之田2号線	西之表市西之表	不明	—	2.8	8.7	溝橋(BOX)	RC	R4	II			○					■	○	●							902,800	3,630,720	橋面修繕工等